

イングリッシュキャンプ 理数科2年生、1年生希望者

8月に行われました。外国人講師と一緒にワークショップに参加し、3日間、じっくりと英語に触れることができるプログラムです。初心者は異文化を学びながら英語を話す楽しさを学び、上級者は様々なテーマについて意見を交わし合うDiscussionにもチャレンジしました。

2024年度 英語技能検定合格者

準1級 2人
2級 32人
準2級 68人
(見込みを含む)



地域リーダー育成プロジェクト(牧之原市事業)

地域の様々な大人たちと対話したり、ファシリテーションのスキルを学んだりして、多くの人とつながる力を身につけました。



グローバル部

部活動として、地域との交流事業、校外の交流会・発表会に積極的に参加しました。

グローバル
(世界)



台湾国立金門高級中学との
オンライン交流

ローカル
(地域)



サーフィン大会の併設イベントを
企画・運営



SHIZUOKA TANKYU COLLECTION
で防災すごろくの探究を発表

各種発表会・イベント等に積極的に参加しました



静岡魅力探究プログラム アオハルし放題
(静岡銀行主催)



「高校生研究セッション」
(静岡県立大学)



「第6回 高校生が競う Energy Pitch!」(電気新聞主催) 最優秀賞受賞
発表テーマ「トウモロコシによる地域活性化&その普及計画〜耕作放棄地の活用〜」

Haibara Achieving Futures Project Report 2024

「探究」が未来を創る



海外研修(ベトナム)令和6年12月23日ハノイ市ホーチミン廟バーティン広場にて



2024年度 榛原高校未来創生事業 HAF プロジェクト研修報告書

- 静岡県教育委員会「グローバルハイスクール」指定校
- 静岡県教育委員会「サイエンススクール」指定校
- 文部科学省「SGH(スーパーグローバルハイスクール)」ネットワーク参加校



静岡県立榛原高等学校

〒421-0422 静岡県牧之原市静波850

TEL 0548-22-0380(代) FAX 0548-22-6557

E-mailhaibara-h@edu.pref.shizuoka.jp

URLhttps://www.haibara-h.ed.jp



ホームページ



Instagram

「地域を、世界を、変える人になる」榛高の探究

総合的な探究の時間「地域創造探究」普通科1年生

地域(牧之原市)の課題などについて様々な角度から学んだ後に、グループを作り、テーマを決めて探究活動を行います。一人一台端末を活用して、グループで協力しながら、主体的に探究活動を進めました。

地元の企業を訪問し、地域について知識を深めました。

対話と協働について学びました。

地元の議員さんが探究の相談会に参加してくれました。

地域の専門家が探究について相談に乗ってくれました。

探究の基礎スキルを身につけました。



「地域創造探究」普通科2年生

自分が興味・関心のある内容を出発点に、将来の志望分野や、注目する社会課題、1年次からの継続課題などから、各個人で設定したテーマで探究を行いました。修学旅行先の沖縄で情報収集した生徒もいました。

大学生にアドバイスをいただきました。

台湾高雄女子高級中学と交流しました。

矢崎総業株式会社 Y-CITYを訪問しました。



地域と世界に目を向け、グローバルな視点で探究活動を行いました。グローバルな視点や英語コミュニケーション能力をさらに伸ばしました。



2年生探究テーマの例

- 「ハワイを例とした海外の観光業を地域に取り入れることへの可能性」
- 「現在の日本に必要とされるコンビニエンスストアの商品に関する考察」
- 「音楽産業の変化から考えるアーティストやアイドルへの『推し活』がもたらす経済効果の原因」

- ◎探究活動を通して思考力・判断力・協働力を高めた生徒 83.7%
- ◎地域等と連携したグローバル事業(研修、発表等)を実践している「そう思う」保護者 86.6%
- ◎探究活動等を活かして進学した生徒 令和6年12月までで 21名(内国公立大学10名)

「発展地域創造探究」普通科2年生選択

「地域創造探究」普通科3年生

自分だけの未来を語る“My Story For Future”

1、2年生での学びを活かし、地域や社会の将来を担う人材として、自己の在り方・生き方(キャリア)について考えました。



「理数探究」理数科2年生

1年生で学んだチームでの協働や科学的な研究方法の基礎を踏まえて、2年生で理科・数学の分野からグループで課題を設定して研究活動を行いました。

「理数探究テーマの例」

- 数学
- 「DVDのロゴが角に当たる条件」
- 令和6年度静岡県理数科理数探究発表会 参加



ベトナム研修 1、2年生希望者

ベトナム研修(1、2年生希望者)

2024年12月21日(土)~12月25日(水)

12/22(日) ハノイ市旧市街地散策

12/23(月) ホーチミン他市内観光

企業研修 YAZAKI HAIPHONG VIETNAM, LTD.

12/24(火) 大学研修(ハロン大学)

世界遺産ハロン湾クルーズ



「ベトナムの地から学んだ新たな学び」

高柳春将(1年普通科)

ベトナムに到着してまず驚いたのは、街の雰囲気の違いでした。初めての海外で、異郷の地ということもあり、道路を埋め尽くすバイクや地元の市場での賑やかなやり取りは、日本ではあまり見られない光景でとても刺激的でした。

日本で当たり前なことが海外に行ってみると実際世界では当たり前ではないということが沢山ありました。

現地の学生や企業の方々と交流する中で、たくさんの刺激を受けました。言葉が通じない場面もありましたが、一生懸命伝えようと、相手も笑顔で応えてくれました。その経験から、「伝えたい」という気持ちがあれば、言葉の壁は超えられると感じました。また、ハロン大学生たちの積極的な姿勢に驚きました。海外の人とあまり接したことがない私にとって大学生たちと交流することは、上手くコミュニケーションを取れるかととても心配で緊張していましたが、私たちのことを快く歓迎してくれ、活動に対していつも前向きでいる姿がとても印象的でした。

研修では、日本企業がベトナムで行っている活動についても学びました。例えば、現地の人々を支援しながらビジネスを進めている姿を見ることが出来ました。日本とは違い、ベトナム人の性格や考えに合った働き方が考えられていると感じました。

今回の研修を通じて、ベトナムの文化や人々の考え方に触れ、自分自身も成長できたと感じています。今後は、研修で学んだことを周りの人たちにも伝えたり、自分の将来にどう生かせるかを考えていきたいです。

ベトナムでの経験は、私にとって大切な経験となりました。

『歴史、町、文化』に関すること

飯田瑞季(1年普通科)

ベトナムの歴史について感じたことは、食べ物に中華料理やフランスパンが使われていたことから、やはりベトナムは中国やフランスの影響を受けているなと思った。街の中の国旗の多さからも、国民意識の高さが窺えた。ホーチミンの像や墓、紙幣に使われていることから分かる通り、ホーチミンをとっても慕っていることがわかる。街並は、大通りから小さい通りに入ると道の両側が市場のようになっていた。売っているものは産地直送のようなものが多かった。食文化がわかりやすく、出汁を取る習慣がないことからとてもさっぱりした味付けの食べ物が多かった。エビや貝などはほぼ毎食出たが、マングローブの汽水域で養殖しているのが見られた。地産地消ができていると思う。

